

梅津五郎 絵画展

「野性の眼」

画壇に飼い馴されぬ

生き方

「ただ単なる写生ではなく、限られた画面の中に無限に広がる宇宙を、その雄大さを捕え、時代に流されることなく呼吸し続ける、生きた絵を描き続けたい」(平成9年2月)

本展覧会では、昨年度修復された日展特選「調理場」、日展初入選作品「秋」も展示いたします。



梅津五郎《調理場》1956

2018年9月15日 [土] ~ 10月14日 [日]

開館時間 = 9:00 ~ 19:00

休館日 = 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 = 一般個人 200円 高校生以下無料

※あゆーむ年間パスポート提示で200円引き

主催・お問合せ・会場 =

白鷹町文化交流センター あゆーむ

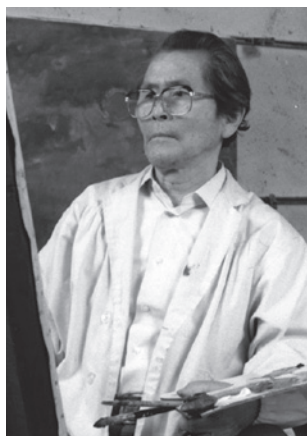
〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝 7331 番地

TEL. 0238-85-9071

梅津五郎絵画展

2018年9月15日[土]～10月14日[日]

「野性の眼」



梅津五郎

梅津五郎プロフィール

1920年(大正9)山形県白鷹町浅立に生まれる。18歳の時画業を志して上京。森田茂、熊岡美彦の両氏に師事する。

東光展と日展を主な発表の場として、1956年(昭和31)の第12回日展において、自らが働く中華料理屋の厨房を描いた「調理場」で特選を受賞、独特の生活感が評価される。

1962年(昭和37)、42歳の時にフランスに留学。フランス滞在中にサロン・デ・ボザール展に初出品し準会員に推挙される。フランス滞在以後色彩が豊かで鮮やかになり、帰国後極めて厚塗りのタッチで日本の風景を描く。

1980年代からは、日本の風景に加え、自らのアトリエ(新宿区下落合)から見える街の風景や月を描いた作品が多くなり、新境地を示す。

東光会理事長、日展参与などの重責を担いながら一方で売り絵を描かない、注文の絵は描かないという厳しい姿勢を貫き、市場の評価を犠牲にしながらも主要作品多数を手元に置いておいた。晩年郷里の白鷹町に代表作など120点余を寄贈。2003年(平成15)83歳で没する。

ー10月からパスポート会費が半額にー

AYu:M 年間パスポート

半年会費 1,000(税込)で3つの特典

- 特典1** 観覧料 200 円のギャラリー展示は無料(何回見ても可)
- 特典2** 観覧料 201 円以上のギャラリー展示は 200 円引き(団体割引との併用は不可)
- 特典3** あゆ一むホールの有料イベントはチケット料金を 500 円引き(会場での本パスポート提示により 500 円を返金)

あゆ一むまでお申し込みください

- ※有効期限:本年10月1日～翌年3月31日
- ※パスポート登録者本人のみ有効
- ※あゆ一むが主催あるいは共催する事業に限ります
- ※あゆ一むカレッジの事業(うたごえ喫茶・アートキッズ団など)は適用外です

—— 会期中のあゆ一むイベント ——

■桂吉弥落語会

[日 時] 10月7日(日)

13:30開演(13:00開場)

[会 場] ホール

[入場料] ※全席自由

一般……………2,500円(当日3,000円)

高校生以下1,500円(当日2,000円)

[定 員] 200名

[チケット] あゆ一むほか

※未就学児の入場はご遠慮ください

上方落語中堅の実力者。テレビ等で大活躍の吉弥師匠、本町7度目の公演です。桂吉朝に入門し、桂米朝邸で住み込み修業。今回の前座は、桂米輝さんです。

アクセス

白鷹町文化交流センター あゆ一む AYu:M

[車] 山形市より国道348号線で約35分

[電車] 赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線「荒砥」行「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

[お問合せ] 0238-85-9071

